

[高架・地表部の対策 について]

Q

横浜環状北線の高架・地表部では、
どのような対策を行いますか？

A

環境対策の事例をご紹介します。

必要に応じて高機能舗装、遮音壁などを設置します。

● 高機能舗装

- 騒音低減効果があります。
- 雨天時の走行安全性が向上します。



通常舗装

タイヤ溝と舗装面の間にはさ
まれた空気の逃げ道がなく、走
行騒音が発生します。



高機能舗装

舗装面のすきまに空気が逃げ、
走行騒音が生じにくい構造と
なっています。

● 裏面吸音板



橋桁の裏面に吸音パネル等を張り付け、反射音を低減させ
るものです。

● 遮音壁 (透光タイプ)



高速湾岸線の整備事例

● 環境施設帯



外環道の整備事例

● その他

● 日照障害対策

高速道路ができたことにより、一定以上の日陰が生じる場合
には暖房、照明等に必要の費用を負担します。

● 電波障害

高速道路ができたことにより、一定以上のテレビ電波障害
が生じる場合には、障害が発生する地域のテレビ電波の受
信状態の改善に要する費用を負担します。



ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路株式会社
http://www.shutoko.jp



【お問い合わせ先】
首都高速道路株式会社 神奈川建設局
TEL 045-439-0731 (調査・環境グループ)

〒221-0013
横浜市神奈川区新子安1-2-4
(オルトヨコハマ・ビジネスセンター3F)

「横浜環状北線」のホームページ：<http://www.yokokan-kita.com/>



環境省認定100%大豆インキ